

煩惱の数には足りず除夜の鐘

除夜の鐘で追い払う煩惱は百八つ。
其れより煩惱が多いとは、豪勢である。
悩みが多いのは若い証拠で喜ばしい。
煩惱の数を誇っていて面白く愉快的な作品。

鮫鯨のごとく口開け見学す

鮫鯨の顔を見ただけでも滑稽である。
鮫鯨の如く大きな口を開け、大仏様など見学する図は滑稽の極みである。
鮫鯨の器量の悪さは抜群で笑える。

化粧する顔あればよし初鏡

一種の開き直りで捨て鉢な措辞が功を奏し、可笑しみが湧く。
初化粧も顔があればこそ出来るのであって、
女性の作品なればこそ面白い。